

## [マツダ]レーダユニットエーミング調整 (例：アテンザ GJEFW / デミオ DJ5FS)

参考：

- ・レーダユニットのエーミング調整が完了しないと、マツダレーダクルーズコントロール (MRCC) システム、スマートブレーキサポート (SBS) システム、車間認知支援システムが正常に作動しない為、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。  
したがって、レーダユニット交換、レーダユニットブラケット交換を行った場合は必ずエーミング調整を行い MRCC システム、SBS システム、車間認知支援システムを正常に作動させる必要があります。
- ※デミオはビークルコントロールモジュールの交換の際にも調整が必要になります。
- ・この作業は SST (プラム・ボブ)、SST (スタンド・リフレクタ)、糸、マーキング出来る物、メジャーを使用します。予めご用意下さい。

注意：

- ・車両とリフレクタの設置面の高さや角度が異なると、正確な調整が行えません。
- ・水平条件は、前後・左右共に 1°以内です。
- ・車両前方 8 m 以上、幅 4 m 以上かつ、車両前方約 8 m の地点において床面から高さ 1.2 m 以上の場所を確保して下さい。
- ・トランク内の荷物は全て降し空車状態にして下さい。
- ・タイヤの空気圧を全輪共に規定圧に調整して下さい。
- ・電波の障害となるため、エーミング実施エリアに異物 (金属類、樹脂類等) が入らないようにして下さい。
- ・エーミング調整中は車両を動かしたり振動させたりしないで下さい。(車両への乗降、ドアの開閉等)
- ・ラジエータグリルオーナメント表面に汚れが無い様にして下さい。
- ・エーミング調整中は、車両及び MTG2000-S の電源を切らないで下さい。
- ・レーダユニットへの供給電圧を約 9.5V~15.5 V で維持して下さい。
- ・エーミング調整は約-30℃~60℃以内の環境で行って下さい。

手順/操作

● レーダユニットエーミング ※一部イラストは整備書より引用しております

車両とターゲットの設置面の高さや角度が異なると、正しくレーダユニットエーミングを行う事が出来ません。下図の様にレーダユニットエーミングは車両とリフレクタの設置面が水平かつ一定になる場所を確保して下さい。

1.



車両とリフレクタの設置面が水平かつ一定



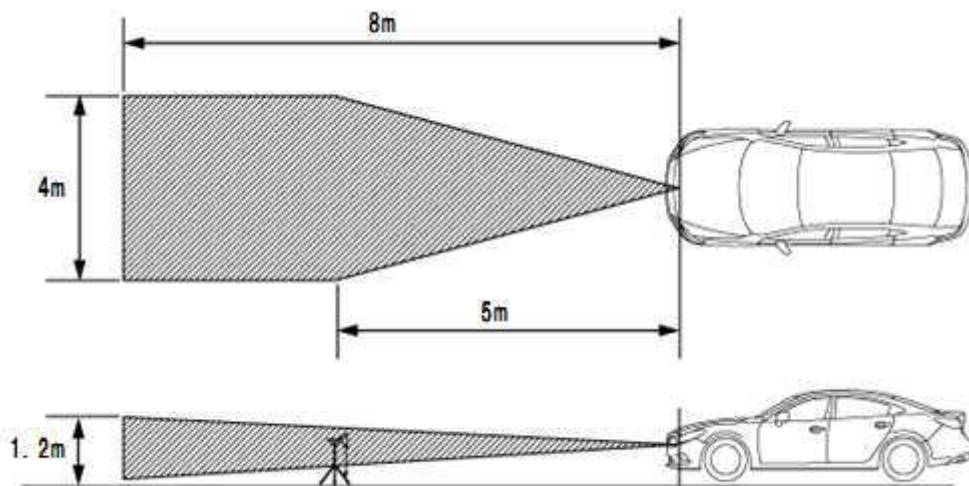
車両とリフレクタの間に段差がある 車両とリフレクタの傾斜角度が不一致



斜面

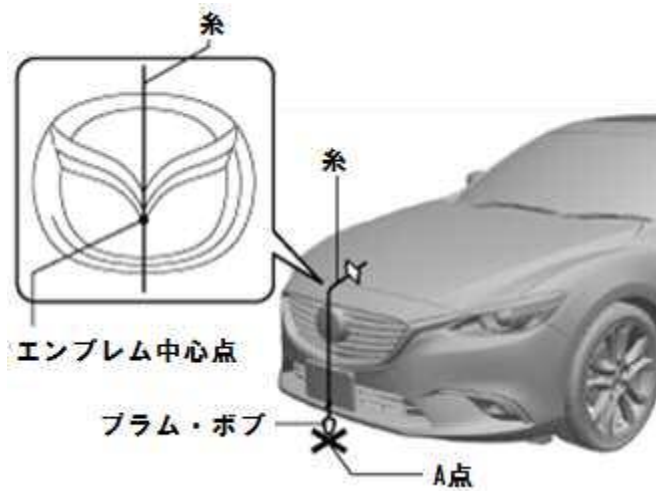
2.

下図のスペースを確保して下さい。斜線範囲内に光を反射する障害物や金属類があると正常にレーダユニットエーミングが行えません。作業中レーダユニットエーミング実施中は斜線範囲内に立ち入らない様にして下さい。



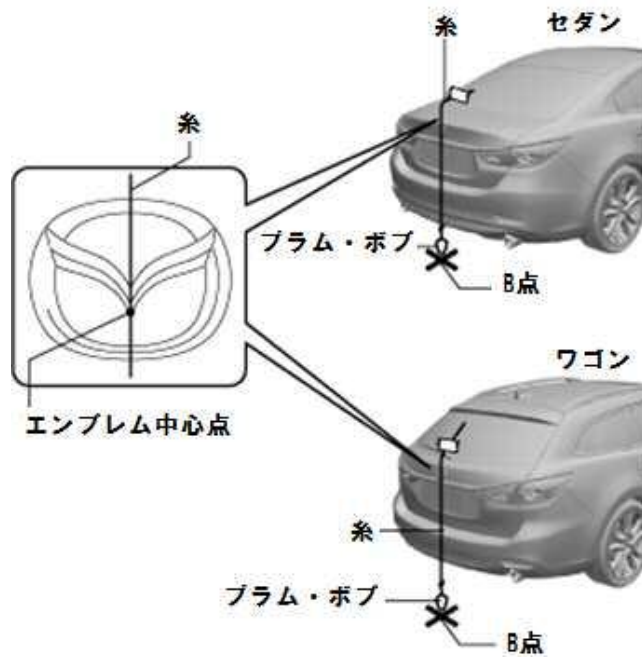
3.

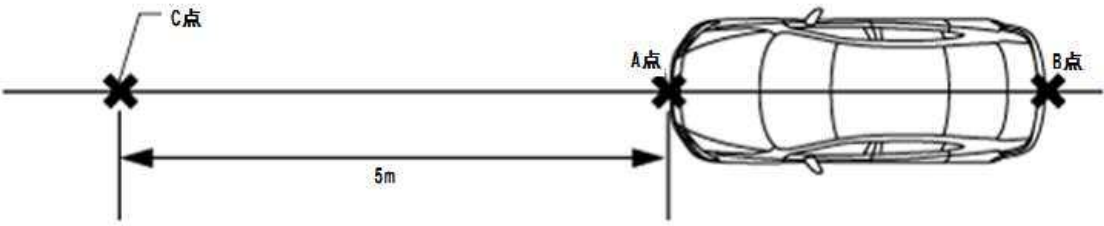
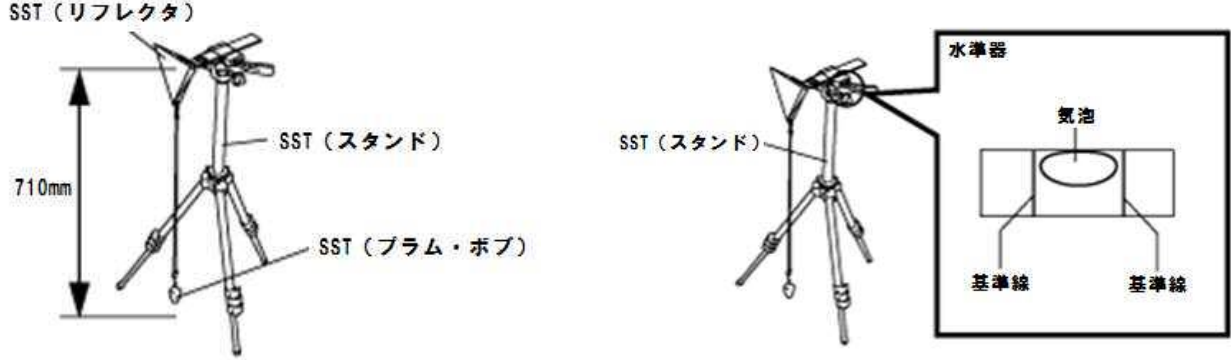
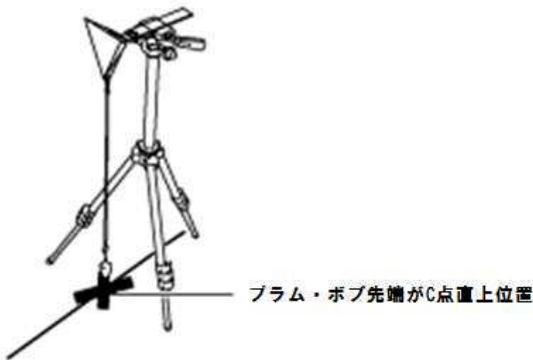
エンブレムの中心に SST(プラム・ポップ)が通る様に垂直に垂らし、フロントの車両中心位置を割り出し床面に A 点をマーキングして下さい。




4.

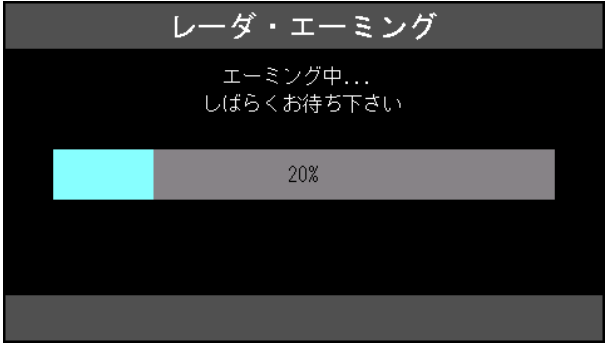

エンブレムの中心に SST (プラム・ポップ) が通る様に垂直に垂らし、リアの車両中心位置を割り出し床面に B 点をマーキングし、糸の一端を固定して下さい。



<p>5.</p>	<p>A点とB点を結ぶ様に糸を車両前方へ張り出し、A点から車両前方5mの位置にC点をマーキングして糸を固定して下さい。</p> 
<p>6.</p>	<p>SST (スタンド) に SST (リフレクタ) と SST (プラム・ボブ) を取り付け、リフレクタの中心高さが 710mm になる様に調整して下さい。その際に SST (スタンド) に内蔵された水準器を参考に SST (リフレクタ) 取り付け面が水平になる様に調整して下さい。</p> 
<p>7.</p>	<p>SST (プラム・ボブ) がマーキングした c 点直上に来る様に SST (スタンド) を設置して下さい。念の為、SST (リフレクタ) 反射面が車両に向いている事、異物等が付着していない事を目視で確認して下さい。</p> 
<p>8.</p>	<p>設置完了後、レーダユニット表面に汚れが無い事、ラジエータオーナメント表面に汚れが無い事、レーダユニットに異物が付着していない事、ラジエータグリルオーナメント表面に異物が付着していない事を確認して下さい。</p>

<p>9.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、MTG2000-S を車両に接続して下さい。</p>																			
<p>10.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にして下さい。 (ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p>	 <p>ブレーキを踏まずに、2 回プッシュします。</p>																		
<p>11.</p>	<p>『メーカー選択』から[国産乗用車]、[マツダ]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <table border="1" data-bbox="885 1115 1492 1456"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td><b>マツダ</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		<b>マツダ</b>		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	<b>マツダ</b>																			
	スバル																			
<p>12.</p>	<p>『車両確認』で車両を自動で検出します。検出された情報に間違いが無い事を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>車両確認</p> <p>以下の通りでいいですか 車名: アテンザ VIN: GJEFW300071 Eng.Type: SKYACTIV-G 2.0 PCM: PE7T-188K2-A</p> <p>ENTER : はい EXIT : いいえ</p>																		

<p><b>13.</b></p>	<p>『マツダメインメニュー』から [作業サポート]を選択し[ENTER]を押して 下さい。</p>	
<p><b>14.</b></p>	<p>『作業サポート』から[SBS/MRCC]を選択し て[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>15.</b></p>	<p>『SBS 作業サポート』から[レーダ・エーミ ング]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>16.</b></p>	<p>リフレクターを設置して実施条件を整えて 下さい。詳細は整備書を参照してください。  内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p><b>17.</b></p>	<p>エーミング中… しばらくお待ちください。</p> <p>そのままお待ち下さい。</p>	 <p>レーダ・エーミング</p> <p>エーミング中… しばらくお待ち下さい</p> <p>20%</p>
<p><b>18.</b></p>	<p>作業が成功しました</p> <p>イグニッションスイッチを OFF にしてください。</p> <p>以上で作業完了となります。 [EXIT]ボタンを数回押し『マツダメインメニュー』まで画面を戻し、イグニッション OFF になっている事を再度確認して安全に MTG2000-S を取り外して下さい。</p>	 <p>レーダ・エーミング</p> <p>作業が成功しました</p> <p>イグニッションスイッチをOFFにしてください</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>